常任委員会の審査報告

総務

総務常任委員会は9月14日に委員会を開会し、付託された議案4件の審査、補正予算質疑、所管事務調査を行いました。

議案審査

◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正

【賛成全員：可決】

児童扶養手当法の改正により、新たに父子家庭にも児童扶養手当が支給されるようになったことから、父子家庭に対する受給調整の規程を新たに設けるもの。

◆火災予防条例の一部改正

【賛成全員：可決】

複合型住居施設に、自動火災報知設備を、省令に定める技術上の基準に従い設置した場合、住宅用防災警報器等の設置が免除されたことから、所要の改正を行うもの。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

【賛成全員：可決】

職員団体の加入する上部団体の活動に従事する場合を対象に、組合休暇として規定するもの。

◆男女共同参画推進条例の制定

【賛成全員：可決】

男女共同参画社会基本法にのっとり、本市における男女共同参画を総合的かつ計画的に推進するために制定するもの。市や市民等の責務を明らかにしたものとしている。

なお、委員会決議として、ワーク・ライフ・バランスの実現や、ドメスティック・バイオレンス防止に対する取り組みを強めること等を求める附帯決議を行った。

問　女性差別撤廃条約の文言や平等の精神を盛り込むべきではないか。

市民参画課長　条約に関しては主旨として考え、平等の精神は基本理念として第三条でうたっている。そのことを踏まえ策定している。

問　現状の認識と今後の取り組みは。

副市長　風習、習慣があり、容易に改められるものではないと感じている。理論的には理解できるものであるから、繰り返し啓発していくことが必要で、手法も考えていかなければならない。

補正予算

問　公用車のバスをラッピングバスにすることについて、どのようなデザインにするのか。

管財情報課長　市のPRとなるものを考えている。関係者で協議したい。

問　時間外勤務を少なくするため、庁内の職員配置を考えるべきではないか。

職員課長　部内、課内の流動化を図り対応している。

問　国保税が高くなった原因をどのように考えているのか。

国保医療課長　医療費の動向に大きな影響を受ける。本市に限らず全体的に受診者の費用額、これに伴う医療費が高いといえる。

問　市税収入が大きく減額となっている。この傾向はしばらく続くのか。

税務課長　主な原因は給与所得者に係る所得割額の減額であり、団塊世代の退職が影響している。経済情勢によると、今年度は昨年よりはやや改善される見通しである。

問　都市計画税の引き下げも含めた財政計画の策定の見通しは。

企画管理課長　平成18年度に策定した財政健全化計画は今年度が最終年度であり、来るべき時期に計画の見直し、検証をしていきたい。

文教福祉

文教福祉常任委員会は9月15日に委員会を開会し、議案1件の審査、補正予算質疑、所管事務調査を行いました。

議案審査

◆有料公園施設（田辺公園プールを除く。）及び一町田多目的運動広場の指定管理者の指定について

【継続審査】

説明が果たせないとし、改めて審議する必要があることから、継続審査としました。

補正予算

問　学校給食調理業務の民間委託実施の関係で、安定した給食には、人員配置は大事な要素で、問題点を把握し、今後の委託に生かすべき。

学校教育課担当課長　契約を結ぶ際の仕様書に基づいて、順調に実施されていると考えている。

教育長　問題点となるところはなかったと聞いているので、安定した給食を提供できていると思っている。

教育部長　委託会社には、給食を提供することに責任をもってもらっているので、人員等は会社内のやりくりに任せている。

問　調理業務民間委託が23年度から3ケ年の債務負担行為として提案されているが、実施校と同じ契約方法で行うのか。

学校教育課担当課長　同様に仕様書に基づいたプロポーザル方式で行う。業者が担当する学校を決定することも選定委員会で評価して選定する。

問　シルバー人材センターの前年度比の受注率はどうか。

保健福祉部長　約97％となっている。受注単価の見直し等の事務改善を理事会で議論されている。

問　子宮頸がんワクチン接種は、集団接種でなくて、個別接種なのか。

健康衛生課長　任意接種であり、健康状態等十分考慮して個別に接種していただきたい。

問　児童虐待防止事業のパンフレットやマニュアル作成の内容は。

こども福祉課長　パンフレットは全戸配布し、マニュアルは保育や教育の関係者向けに、また、子どもにはSOSカードを配布したい。そして公用車に防止啓発ステッカーを貼り、あわせて市民を対象に講演会を企画している。

問　児童虐待防止には地域とのネットワークが大切と考えるが、行政職員が発見できるのか。

こども福祉課長　1～3歳までが虐待を受けている場合が多く、その年齢には市のきめ細かい検診があり、未受診者にアンケートを行い、未回答の方に家庭訪問を行うことで対応している。

児童虐待防止を啓発するポスター

建設経済

建設経済常任委員会は9月13日に委員会を開会し、付託された議案1件の審査、補正予算質疑、所管事務調査を行いました。

議案審査

◆道路線の認定

【賛成全員：可決】

大住仲ノ谷、大欠地内の住宅開発により新設された道路について認定を行うもの。

補正予算

問　プレミアム付商品券発行事業補助金について、景気対策としてはよい事業である。利用しやすくする工夫は。

産業振興課長　1万円の場合、1千円分のプレミアムが付いて、本事業参加店で利用ができ、1万1千円のうち、5千円分は大型店を除く地元店のみでの利用を予定。

問　プレミアム付商品券発行事業の背景は。

産業振興課長　10％のプレミアムを付けることで消費喚起と市内購買の促進をめざしている。緊急経済対策の一環として行うものである。

問　三山木地区特定土地区画整理事業で、道路整備が遅れていると思われるがどう考えているか。

三山木整備課長　建物移転の遅れが影響したことによるもので、23年度には道路形状を整えたい。そして、27年度には本事業の完成に向け鋭意取り組みたい。

問　三山木地区特定土地区画整理事業内に関わる南田辺三山木駅前線が開通しないことについての対応は。

三山木整備課長　換地設計基準、移転補償基準等を厳守して、毅然と交渉を続けていきたい。

問　公園遊具の点検と新たな遊具の設置は。

施設管理課長　危険な遊具として撤去した公園は63公園あった。今年度は4公園の新設だが、23年度は要望のあった公園すべてに遊具の整備を進めていきたい。

問　新名神高速道路（城陽～八幡）の建設に伴う側道整備事業で、4㍍幅のところを6・5㍍とする拡幅部分を地元要望による市単費の事業とする理由は。

建設部技監　新名神建設にあわせてしかできない道路で、人口増加に伴う車両増加や大住工業専用地域へのアクセス道路として、また周辺道路の交通量緩和策として整備が必要な道路である。

問　有害鳥獣対策としてのアライグマ対策について、個人で防御されている方への支援は。

農政課長　共同で防御柵等を設置されている方々に対し、府の支援策を利用されるよう地元調整しているが、個人設置に対する支援は検討したい。

住宅開発に伴い新設された道路（大住）

―― 補正予算の主な概要 ――

一般会計（補正額）　3億2,900万円

（総務費）

○庁舎等整備　146万円

乳児を連れた方が安心して庁舎等を利用できるよう、授乳室やベビーチェア等を整備するもの。

（民生費）

○児童虐待防止事業　125万円

児童虐待を防止するため、市民、保護者向けのパンフレットや子育て関係者向けのマニュアルを作成するもの。

（衛生費）

○子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業　450万円

子宮頸がんの予防のため、対象年齢（中学3年生）のワクチン接種費用の全額を助成するもの。

（土木費）

○三山木地区特定土地区画整理事業　9,601万4千円

三山木地区特定土地区画整理事業において、事業の進捗に伴い区画整理関連工事及び物件移転補償費等を追加するもの。

（商工費）

○プレミアム付商品券発行事業補助金　258万9千円

京田辺市商工会が発行するプレミアム付商品券に係る費用の一部を助成するもの。

（教育費）

○教育施設整備　93万円

乳児を連れた方が安心して教育施設を利用できるよう、ベビーチェアやベビーベッドを整備するもの。